



水先案内

水のこと、
もっと知りたい



目次

水と仕事シリーズ「ベビースイミング」

水道局からのお知らせ

- お客様に信頼される水道をめざして
新潟市水道事業中長期経営計画～マスタープラン～
- 平成19年度 水道事業会計予算のあらまし
- 水道局へのお届け・お問い合わせはフリーダイヤルで

水道週間行事のご案内

災害時応急給水協定を麒麟山酒造(株)と締結

水と共に生きる。 水と仕事シリーズ 第五回 「ベビースイミング」

準備体操を終え、プールサイドに現れたよちよち歩きの赤ちゃんが、瞳を輝かせ、満面の笑みで水際の手すりへと向かう。そのカラフルな水着を着た小さな体を抱き、お母さんが水に身を沈めると、波紋を広げる水面に母子の笑顔が映っては消えた。間もなく、次から次へとやってくる親子でいっぱいになった室内温水プール。お母さんばかりではなくお父さんやおばあちゃん、おじいちゃんも、小さな体を愛しそうに抱え、そして誰もが、笑顔でいる。

水は人間にとって「最初の体験」だという。お母さんのおなかの中は生命を育む海であり、胎児は温かい羊水に包み守られて、この世に誕生する。水に入るといふ行為は、その懐かしい「時間の記憶」呼び覚ますこと。赤ちゃんはもとより、長い時間、地上で歩んできた大人でさえも、水に抱かれた瞬間、心地よさに解き放たれる。

新潟市にあるスイミングスクールでは、生後6か月以上の赤ちゃんとお母さんを対象に、ベビークラスを設ける。水中での遊びや音楽を使ったエクササイズ(アクアピクス)を取り入れて、子供の運動機能向上や育児のストレス解消を促している。また、「水の中は特異な空間。誰にもじゃまされない、特別な距離感があるんです」と、インストラクターが親と子の絆づくりをさりげなくサポート。水の浮力やマッサージ効果を利用した体操、水中の障害物競走など、運動メニューに工夫を凝らし、楽しみながらコミュニケーションできる時間を提供する。

わずか一歳の子供が、腕に浮輪をはめて一人で泳ごうとする姿に、生きるたくましさがある。そして幼子の冒険心にあふれた行動を「見守る」という親の「待ち」をも、水は大きな包容力で癒してくれる。

人の心を育てる力。水は、それを持っている。